

共生社会ホストタウン追加登録団体の活動計画（2021年4月27日）

自治体名 (所在都道府県名)	相手国	活動計画
江差町 (北海道)	米国	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <p>・2019年11月、江差中学校で全校生徒114名を対象に人権スポーツ教室を開催し、函館の車いすバスケットボール団体の参加のもと、子供たちが競技の体験と障害者スポーツの理解を高めた。大会後の交流として、米国シッティングバレー選手団を江差町に招き、地元小中学生を対象とした競技体験会、はんこづくり等の日本文化体験の交流等を図る予定である。</p> <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <p>・2017年～2019年までの3年間、江差町を含む檜山7町により地方創生推進事業「ひやまバリアフリーレジャー推進協議会」を立ち上げ、江差町のトイレのバリアフリー対応情報等を確認できる「檜山バリアフリー観光情報」をまとめた。道の駅「江差」では、駐車場の障害者、介助が必要な方々のスペースに、風雨を避けるためのカーポートを2020年に設置しており、今後もユニバーサルデザインの街づくりを推進していく予定である。</p> <p>【心のバリアフリー】</p> <p>・社会福祉法人江差福祉会では、18歳以上の知的障害者を入所させ就労支援などを行っており、現在入所者数は250名を超え、近隣町を含め入所者は現在も拡大を続けている。江差福祉会と近接する小中学校の行事では、児童生徒、入所者、地域住民が一体となった運動会等のイベントを通して交流を行ってきた。東京大会前には、日本人パラリンピアンを招き、町民への心のバリアフリー研修を開催する予定である。</p>